



南十字星を見よう！

「日本で南十字星ってみえるの？」「北半球は見えないよ…」

よく聞く会話ですが、これは思い込み。日本でも緯度の低いところで見える場所があるんです。沖縄本島よりさらに南西に下った宮古島や石垣島では、5月～6月の21時ごろに、南の空の水平線に近いところで輝いているのを見ることが出来ます。宮古島や石垣島は、北緯24度あたりに位置します。南十字星は、最も高い時でも南の水平線から高度わずか7度という低さです。

南十字星を探すには、まず北斗七星からスタートして春の大曲線を見つめます。うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカを見つけたら、その先にもう少し視線を進めるとコップをひっくり返したような四辺形の星の並びを見つけることができます。これがからす座。からす座から真下に、からす座より一回り小さいけど明るい4つの星を見つけられれば、それがみなみ十字星です。南十字星は、そのまま「みなみじゅうじ座」という全天にある88星座のなかで、最も小さな星座です。ここで気をつけてください。南十字星の西側にそっくりだけど、本物よりもやや大きくて暗い十字の星の並び、「ニセ十字」があります。やや大きく、その分目立つので間違えないように注意しましょう。

宮古島や石垣島へは東京や大阪から飛行機でひとつ飛び、2時間～3時間程度で到着するので、南十字星を見たいと思ったら、海外よりも気軽に日本の南の島へ行くのもいいかもしれませんね。でも、天気のせいで短い滞在期間中に見られないこともあります。その時は、ぜひプラネタリウムにお越しください。



石垣島から見える南十字星 国立天文台提供